

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもの食と栄養 ナンバリング：2206	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：波田野尚美 担当形態：単独
科目	保育の対象の理解に関する科目		
教科目	子どもの食と栄養		
授業の到達目標及びテーマ 1. 食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解できる。 2. 子どもの発達と食生活について理解し、乳児期から幼児期の栄養補給の特徴を説明できる。 3. 子どもの食生活の現状と課題を理解し、食育の意義、目的を考えることができる。			
授業の概要 子どもの発育・発達・健康増進のために必要な栄養学、正しい食生活のあり方、食事方法等についての基本的な知識を学習する。講義および実習から、食の大切さや食育の重要性を理解し、子どもの身体状況や栄養状態に応じた支援ができるような知識を身につける。			
授業計画 第1回：子どもの健康と食生活の意義 第2回：栄養に関する基本的知識① 第3回：栄養に関する基本的知識② 第4回：栄養に関する基本的知識③ 第5回：乳汁期の栄養 第6回：実習①（乳汁栄養） 第7回：離乳期の栄養 第8回：実習②（離乳食） 第9回：幼児期の栄養と食事① 第10回：幼児期の栄養と食事② 第11回：実習③（幼児食） 第12回：食物アレルギー 第13回：実習④（アレルギー対応食） 第14回：食育① 第15回：食育②・まとめ 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ・授業計画に基づき、教科書の対応箇所を事前に読んでおく。授業後は、教科書や配布プリントを復習し、理解を深める。予習・復習には1時間程度の時間が必要である。 ・日々、子どもや食に関するニュースを把握し、自分で考える時間が20分程度必要である。	
授業の方法 講義、実習、グループ活動。提出物にコメントを記入して返却する。			
テキスト 『イラスト 子どもの食と栄養』 著者代表 森脇千夏 東京教学社			
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する			
学生に対する評価 定期試験の成績（50%）、課題・提出物（30%）、実習・授業参画度（20%）を判断して評価する。 ※教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにルーブリックを活用する。			
履修上の注意 ・実習では、エプロン・三角巾・名札を各自用意する。 ・子どもや食に関するニュースに関心を持ち、理解を深めること。			
実務経験の有無	有	実務経験	元高等学校家庭科教諭
実務経験を生かした教育内容 家庭科の授業実践の経験を活かし、食の大切さについて分かりやすい授業を行う。			